

支 所		組合員コード		生産者名		作付面積	a	圃場NO						
は種日	月	日	定植日	月	日	収穫始め	月	日	収穫終り	月	日	確認印		

適 用 害 虫 等							薬 剤 名	RAC コード	希釈倍率ま たは使用量	収穫前使用日数 (使用時期)	使用 回数	使用した薬剤名の欄の□に✓チェックを入れ 使用月日を記入して下さい。			
ア ブ ラ ム シ 類	ハ ス モ ン ヨ ト ウ	ヨ ト ウ ム シ	オ オ タ バ コ ガ	カ メ ム シ 類	ネ コ ブ セ ン チュ ウ	ネ キ リ ム シ 類									
					○		ネマトリンエース粒剤	I:1B	全面土壌混和 20kg/10a	播種前	1回	□ /			
						○	ダイアジノン粒剤5	I:1B	土壌表面散布 6kg/10a	収穫開始30日前まで	2回	□ /	□ /		
						○	ガードベイトA	I:3A	株元散布3kg/10a	播種時～生育初期	3回	□ /	□ /	□ /	
○							チェス顆粒水和剤	I:9B	6,000倍	収穫前日まで	3回	□ /	□ /	□ /	
○							モスピラン顆粒水溶剤(劇)	I:4A	4,000倍	収穫前日まで	3回	□ /	□ /	□ /	
○							ダントツ水溶剤	I:4A	2,000倍	収穫前日まで	3回	□ /	□ /	□ /	
○	○			○			アディオソ乳剤	I:3A	2,000倍	収穫前日まで	3回	□ /	□ /	□ /	
	○		○				コテツフロアブル(劇)	I:13	2,000倍	収穫前日まで	2回	□ /	□ /		
	○	○	○				アタブロン乳剤	I:15	2,000倍	収穫前日まで	4回	□ /	□ /	□ /	□ /
	○		○				ブレバソソフロアブル5	I:28	2,000倍	収穫前日まで	3回	□ /	□ /	□ /	
	○						フェニックス顆粒水和剤	I:28	2,000倍	収穫前日まで	2回	□ /	□ /		
	○		○				グレーシア乳剤	I:30	2,000倍	収穫前日まで	2回	□ /	□ /		

適 用 病 害 等								薬 剤 名	RAC コード	希釈倍率ま たは使用量	収穫前使用日数 (使用時期)	使用 回数	使用した薬剤名の欄の□に✓チェックを入れ 使用月日を記入して下さい。			
斑 点 細 菌 病	う ど ん こ 病	黒 斑 細 菌 病	葉 枯 細 菌 病	黒 斑 病	葉 す す 病	灰 色 か び 病	苗 立 枯 病									
							○	タチガレン液剤(ピシウム菌) 植穴または株元灌注	F:32	500倍	播種時～発芽初期	2回	□ /	□ /		
							○	リゾレックス水和剤(リゾクトニア) 【植穴土壌灌注 1ℓ/m ² (150ml/穴)】	F:14	1,000倍	播種時及び 子葉展開時	2回	□ /	□ /		
			○					カスミンボルドー	F:24 F:M01	1,000倍	収穫開始7日前まで	3回	□ /	□ /	□ /	
	○							モレスタン水和剤 (ハダニ類適用あり)	I:UN F:M10	3,000倍	収穫前日まで	3回	□ /	□ /	□ /	
	○			○	○			トリフミン水和剤	F:3	5,000倍	収穫前日まで	3回	□ /	□ /	□ /	
				○		○		ロブラール水和剤	F:2	2,000倍	収穫前日まで	3回	□ /	□ /	□ /	
							○	バスタ液剤	H:10	300～500ml/10a 雑草茎葉散布 (散布液量 100～150ℓ/10a)	収穫前日まで (雑草生育期耕起前 は種前又は畦間処理)	3回	□ /	□ /	□ /	

・使用時期の「収穫前日まで」とは、薬剤散布を終了した時刻より24時間を経過するまで収穫できないことを示します。

適正管理について！

1. 病害虫の発生状況・予察に留意しながら予防・発生初期防除を心がける。
2. 圃地の適正な排水管理を行う。
3. ドリフト軽減ノズルや防薬ネット等を出来る限り使用する。
4. ミツバチへの配慮を行う。

防除器具の農薬残留に留意！！

- ・防除器具は、前回散布後に充分洗浄したか確認し、散布当日も薬剤調整前に もう一度通水し洗浄しましょう。
- ・防除器具は使用後、通水で3回以上洗浄しましょう。
- ・洗浄水は川や下水等に流さないようにしましょう。